

## SCREENグループのCSR

当社グループは、創業の精神を継承し、「未来共有」「人間形成」「技術追求」の企業理念に基づき、制定したCSR憲章をコンプライアンス、人権の尊重、製品責任やサプライチェーンなどにおける行動指針として実践し、企業の社会的責任を果たしてまいります。法令順守はもとより、倫理的で透明性のある行動を通じて、ステークホルダー（顧客、従業員、株主、債権者、取引先、地域社会、行政機関など）の期待に応えることにより、社会の持続可能な発展に貢献してまいります。

また国内外のSCREENグループ従業員を対象にCSR憲章教育を実施、受講率100%を達成しました。この教育を通じて、LGBTなど多様性の尊重についての周知教育にも努めています。

※CSR: Corporate Social Responsibility(企業の社会的責任)の略。

### SCREENグループが重点的に取り組む課題—CSRにおけるマテリアリティの特定

SCREENグループでは、創業からこれまで培ってきた技術や社会との関わり、社会からの期待とこれから取り組むべき社会課題を踏まえ、2014年4月1日、SCREENグループのあるべき姿とその実現に向けたグランドデザインを示す経営大綱を制定し、中期3カ年計画として展開しています。その中期3カ年計画から当社のマテリアリティを抽出・選定し、CSR中期3カ年計画に展開しています。

#### 特定したマテリアリティの一覧

- A. 社会に有益な商品・サービスの提供 (p.28 品質マネジメントなど)
- B. CSR意識の浸透 (p.22 CSR憲章の項など)
- C. 適正な取引の推進 (p.22 コンプライアンス・リスクマネジメントなど)
- D. コンプライアンスの徹底 (p.22 コンプライアンス・リスクマネジメントなど)
- E. 人権の尊重/人材活用・育成 (p.22 CSR憲章の項、p.26 人材の評価と育成など)
- F. 人と地球に優しい環境形成 (p.23 防災EHSマネジメントなど)
- G. 企業情報の適正な開示 (p.22 コンプライアンス・リスクマネジメントなど)
- H. 会社資産の保護/効率的活用 (p.16 コーポレート・ガバナンス体制など)
- I. 事業継続の取り組み推進 (p.23 防災EHSマネジメントなど)
- J. 企業市民としての社会貢献 (p.29 社会との関わりなど)

### コンプライアンス・リスクマネジメント

「SCREENグループCSR憲章」に基づき、健全な企業活動を推進してまいります。海外グループ会社でのコンプライアンスについては、現地の弁護士とともに状況を把握し、課題抽出から改善まで取り組んでいます。

リスクマネジメントに関しては、経営に影響を及ぼす可能性があるリスクを軽減するため、当社の取締役社長をリスクマネジメント最高責任者とし、CSR・グループ監査室が事務局となっており、グループ全体でリスクマネジメントに取り組む体制を確立しています。一方、当社グループの営業秘密の管理手法に関してはウェブサイトの「営業秘密の管理」にて詳細を掲載しています。

その他の主な取り組みについてもウェブサイトをご覧ください。

### CSRにおける主な取り組み

コンプライアンス	製品責任
推進体制と教育	適切な情報発信
安全保障貿易管理	化学物質規制への対応
反競争的な行動・贈収賄の防止	サプライチェーン
人権の尊重	EICC対応
CSR憲章での言及	紛争鉱物
サプライヤー調査	サプライヤー調査
	BCM

### 防災EHSマネジメント

当社グループでは、東日本大震災を受け、事業継続マネジメント(BCM)を重点課題と置き、2012年から取り組み、2015年3月期からは、従来の「環境保全」「健康管理」「労働安全」の3つを柱とするEHS活動にBCMを統合し、「防災EHS」として運用しています。現在は、グループ共通の「防災EHS活動方針」を基に取り組んでいます。

防災EHSへの拡充に合わせて、EHS活動の中期戦略「グリーンバリュー(GV)21」に関しても、BCMをフェーズIIIの柱の一つとして取り組みを進めています。今後も防災EHSマネジメントシステムに基づいて、さまざまなリスクと機会を包括的にマネジメントしてまいります。

### GV21・フェーズIII 長期コミットメント

**Safety & Health**

**職場の健康と安全の推進**

- 休業4日以上労働災害を撲滅
- 疾病休業率の削減

**Green Products & Technology**

**環境負荷の低減に貢献する技術・製品の開発展開**

- お客さま先の当社製品環境負荷を削減  
2017年3月期末50%削減、2021年3月期末65%削減※  
(2010年3月期比性能基準)  
※ITRS(国際半導体技術)ロードマップ2013に準拠
- グリーン調達基準を順守(製品含有の使用禁止物質を全廃・代替化)[REACH、RoHS指令対応]

**Green Fab & Office**

**工場とオフィスの環境保全と省エネルギー**

- エネルギー起因のCO<sub>2</sub>を削減  
2017年3月期末3%削減、2021年3月期末7%削減(2012年～2014年3月期ベースライン原単位比)

**Business Continuity and EHS Management**

**防災と事業復旧体制の整備**

- 事業継続マネジメントシステム(ISO22301)の認証取得とHigh-Level Structure(HLS)へのマネジメントシステムの移行
- 大規模災害時の対応力と復旧力向上

### GV21・フェーズIII(2015年3月期～2017年3月期)の目標

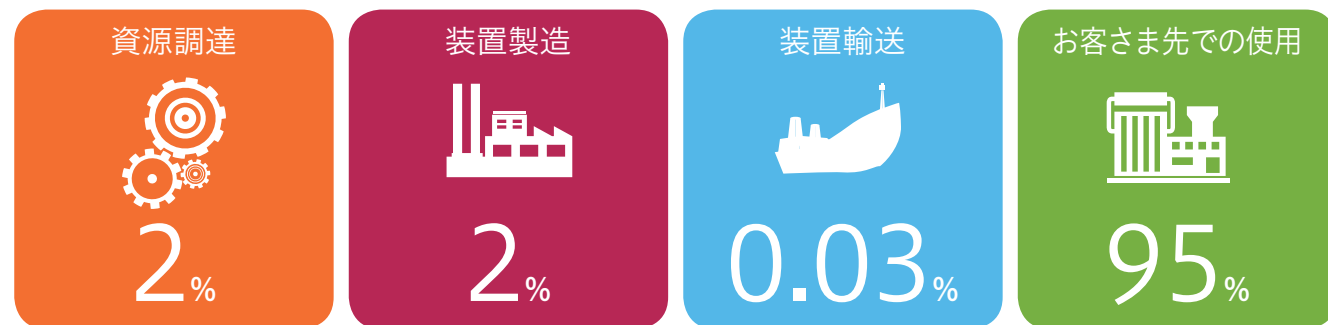
重点施策	活動内容	2017年3月期目標
環境負荷の低減に貢献する技術・製品の開発展開	お客さま先の当社製品使用時の環境負荷を削減	製品使用時における消費エネルギー <sup>※</sup> (資源、水含)を2010年3月期比で50%以上削減 ※性能基準
	グリーンプロダクツの売上占有率向上	売上占有率85%以上
	グリーン調達基準の順守	グリーン調達率98%以上 (使用禁止物質全廃、制限物質は認定後3年以内に代替)
工場とオフィスの環境保全と省エネルギー	グリーンテクノロジーの推進	環境関連発明を2013年3月期比で30%以上向上
	エネルギー起因のCO <sub>2</sub> 排出量削減	出荷重量原単位でベースライン比3%以上の原単位削減
	社外排出物の削減	出荷重量原単位でベースライン比3%以上の原単位削減
職場の健康と安全の推進	環境マネジメントの推進	グリーンバリューアワードの実施と推進 薬品ガス管理レベルの向上
	休業4日以上労働災害撲滅	発生件数ゼロ
	グローバルでの休業災害発生削減	10件以下(お客さま先での作業を含む国内5件、海外5件)
	疾病休業率 <sup>※</sup> の削減 ※年度内の7日以上休業者数/期初社員数	ベースライン比10%以上の削減
防災と事業復旧体制の整備	5S活動の徹底(5S=整理、整頓、清掃、清潔、しつけ)	ヒヤリハット提案の実施
	事業継続マネジメントシステム(BCMS)の認証取得	ISO22301認証取得(2015年3月期取得)
	大規模災害時の対応力と復旧力向上	安否確認訓練の回答率 <sup>※</sup> を95%以上 ※安否回答率=回答数/安否確認対象数(発災後7h以内) 演習を1回/年以上実施

(注)ベースラインは2012年～2014年3月期の3年間平均  
2016年3月期の実績に関してはウェブサイトにてご覧いただけます。2015年3月期に目標を見直しました。

## 環境保全

当社グループでは、製品のライフサイクル(資源調達、装置製造、装置輸送、お客さま先での使用)を通じてのCO<sub>2</sub>排出量の削減と省エネルギー・資源に取り組んでいます。

当社グループの製品ライフサイクルとCO<sub>2</sub>排出量に占める割合



### Highlight

事業活動における環境負荷削減

当社グループプリント基板関連機器の工場である野洲事業所の生産棟において、空調およびボイラの運用改善により事業所全体の15%のCO<sub>2</sub>排出量削減を達成

-15%



### 事業活動におけるCO<sub>2</sub>排出量削減

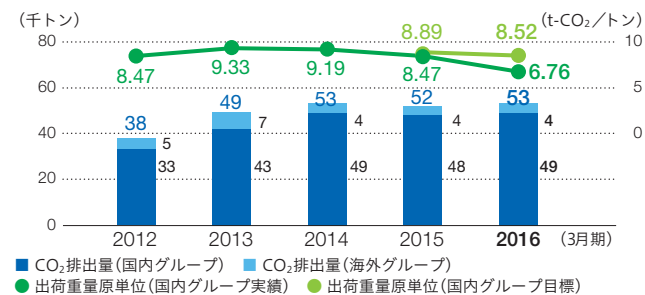
当社グループプリント基板関連機器の工場である野洲事業所の生産棟において、空調およびボイラの運用改善により排出量を466トン削減しました。野洲事業所CO<sub>2</sub>排出量削減量の15%に相当します。

2016年3月期の当社グループのCO<sub>2</sub>総排出量は、52,523トンで前期とほぼ同等となりました。

出荷重量原単位でベースライン\*比2%以上削減するという国内グループの年度目標を達成できました。

※2012年3月期～2014年3月期の3年間平均

### CO<sub>2</sub>排出量と出荷重量原単位



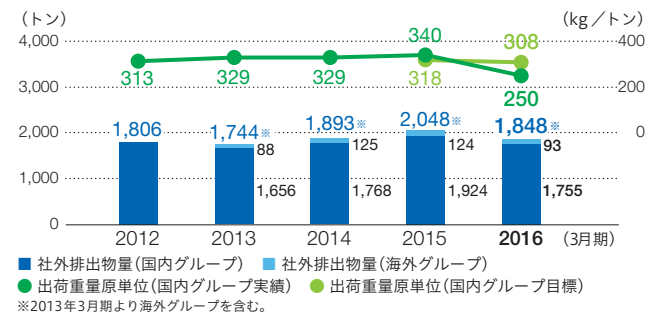
### 廃棄物の削減

2016年3月期の当社グループにおける廃棄物量は1,848トンで、前期比9%減となりました。セミコンダクター事業における装置の除却処理が減少しました。

2016年3月期の社外排出物量は出荷重量原単位でベースライン\*比2%以上削減するという国内グループの年度目標を達成できました。

※2012年3月期～2014年3月期の3年間平均

### 社外排出物量と出荷重量原単位



「水使用量」に関してはウェブサイトにてご覧いただけます。

### Highlight

お客さま先での環境負荷削減

プリント基板直接描画装置「Ledia 5」は、平成27年度優秀省エネルギー機器表彰の日本機械工業連合会会長賞を受賞。従来機種と比較して56%の消費電力削減を達成

-56%



### お客さま先での環境負荷削減

当社グループでは、「環境負荷の低減に貢献する技術・製品の開発展開」を追求し、お客さまの環境対策に積極的に貢献するという考えのもと、製品開発に取り組んでいます。



### 製品使用時のCO<sub>2</sub>排出量削減

当社グループでは、製品使用時のエネルギー、水、薬液などの使用量削減を図ることにより、社会的要請の高いバリューチェーンを通じてのCO<sub>2</sub>排出量削減と省資源に取り組んでいます。

例えば当社の半導体洗浄装置に関しては、ライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の95%がお客さま使用時に発生するため、水消費量の低減、ウェハー処理時間の短縮を狙った装置開発を推進し、トータルでのCO<sub>2</sub>排出削減を進めています。

### Highlight

お客さま先での環境負荷削減

2016年3月期に開発した印刷関連機器サーマルプレートレコーダー「PlateRite 4600Z」は、従来機種と比較して40%の消費電力削減を達成

-40%



### グリーンプリンティング認定\*の取得

当社グループの印刷関連機器事業では、「資材調達」「製造」「使用」を通して環境負荷削減とリサイクル推進に取り組み、2016年3月末時点で11製品群においてグリーンプリンティング認定の最高ランク(3つ星)を取得しています。

※グリーンプリンティング認定：日本印刷産業連合会の環境自主基準「印刷サービスグリーン基準」に基づく認定制度

### 新規認定製品群

● PlateRite 4600Z/S/E

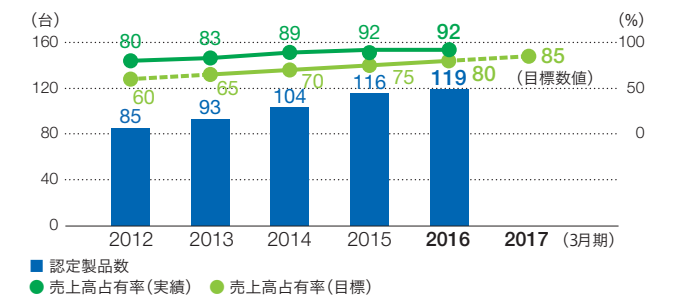


### グリーンプロダクツの販売拡大

当社グループ独自の評価基準をクリアした製品を「グリーンプロダクツ」として認定し、環境性能の高い製品の販売拡大に努めています。各製品の環境パフォーマンスデータを含む詳細は当社グループCSRサイト「グリーンプロダクツ」をご覧ください。

2016年3月期には、グリーンプロダクツの売上高が全売上高の92%に達しています。

### グリーンプロダクツの売上高占有率と認定製品数





## 人材・労働マネジメント

「職場の健康と安全の推進」を最重要課題に、多様な従業員がその能力を最大限発揮できる環境づくりに取り組んでいます。



### Highlight

#### 人材育成における取り組み

グローバルに活躍できる人材の育成を強化するため、海外研修や留学、海外グループ会社への従業員短期派遣等の取り組みを実施しています。

### 雇用と処遇

当社グループでは、基本的な人権を尊重し、人種、皮膚の色、民族性、宗教、性別、性的指向、出身国、年齢、心身障がい、遺伝的特徴などによる差別のない雇用の創出と維持に努めます。

また、一人ひとりの貢献と会社業績を反映した処遇により能力を発揮し、意欲的に働く従業員に報います。なお、これは差別のない処遇の決定、ならびに報酬に関する各国法令の順守を前提とします。

### 人材の評価と育成

当社グループでは、経営の原点は人にあるとの思いのもと、中長期の観点に基づく制度や施策の充実により従業員一人ひとりの成長を支援し、多様な人材を計画的に育成します。また、役割に基づく公正で納得性の高い評価により、個人とSCREENグループが共に成長する仕組みを構築します。

例えば、当社および主要子会社においては、若手社員を対象に、大学院や他分野の研究機関への派遣や技術者の計画的な育成を実施しており、広い視野を持つ人材の育成や、技術者マインドの継承に努めています。

### グローバルに活躍できる人材の雇用と育成を強化

海外での事業活動が重要になる中で、グローバルに活躍できる人材の雇用と育成や人材交流に努めています。

#### 主な取り組み

- 海外研修・海外留学  
米国ビジネススクール、ロースクール留学  
(実績: コロンビア大学、UCLA など)  
海外グループ会社への短期派遣
- 若手技術者の海外研究機関への派遣  
IMEC、スタンフォード大学など
- 語学力向上を図る語学研修(階層別・レベル別・目的別)
- 海外グループ会社従業員の出向受入れ促進
- 留学生インターンシップの受入れ

### ワークライフバランスの推進

当社および主要子会社は、多様な個性を持つ従業員が、各自のライフステージにおける変化に左右されることなく能力が発揮できる環境整備に努めています。

#### 2015年度の取り組み

フレックスタイム制(全社員対象)
有休取得率50%未満の社員は、翌期に必ず5日連続の有休「PitStop5有休」を設定
育児休職(最大1歳6カ月に達するまで延長)
育児短時間勤務制度(子供が小学校3年生まで、就業時間の1日2時間を限度として短縮)
育児(子供が小学校3年生まで)のための時間外勤務および深夜業の制限
育児や介護などで転勤が難しい社員を対象に、勤務地を限定した「準総合コース」
育児休職中の自己啓発を支援するウェブサービス「育児休職中能力アップ支援プログラム」
育児休職からの早期復職者に保育所費用などを補助する「育児早期復職補助金給付」
育児・介護を担う社員を対象に部分在宅勤務(勤務時間の一部を自宅で勤務可能)
育児休職等補助金給付(育児休職・育児短時間勤務等により減額となる賃金の一部補償)
介護休業・介護休職・介護短時間勤務制度(通算365日まで取得可)
介護勤務(請求により12カ月以内の範囲で時間外勤務の免除)
介護に関する相談窓口
介護休業等補助金給付(介護休業・介護短時間勤務等により減額となる賃金の一部補償)
介護用具補助金制度(介護のための器具購入・レンタル費用の一部補助)
健康・こころのオンライン(メンタルヘルス相談)

■: 2015年度の新規取り組み

### 労使関係

当社および主要子会社の労働組合加入率は、2016年3月末時点で97.3%です。労使協議会は年1回以上(2016年3月期は6回)開催し、労働環境に関する各種テーマについて協議しています。安全衛生委員会では、労働組合員出席のもと、年間の安全衛生活動計画を決定し、日常の安全衛生活動を推進しています。雇用条件に関わる労使の協議は、1カ月以上前の通知をもって行うことを原則とし、月2回定例の事務折衝も開催しています。

### 労働安全衛生

当社グループは、国内全社でOHSAS18001に準拠した労働安全衛生マネジメントシステムに基づいて、リスクアセスメントや安全衛生事前審査、重量物作業の点検、経験の浅い作業や管理者向けの教育の充実などに取り組んでいるほか、海外でも労働安全衛生管理を強化しています。「GV21・フェーズIII」では、新たに海外拠点を含めた休業災害発生削減や健康管理システムの導入を目標に掲げ、取り組みを進めています。

(注) p.23「GV21・フェーズIII(2015年3月期～2017年3月期)の目標」参照

### 健康管理とメンタルヘルス対策の拡充

当社グループでは、海外赴任者を含む全グループ社員の健康診断の受診徹底に取り組んでいます。国内では受診率ほぼ100%を達成しています。海外赴任者に対しても、「受診計画表」を作成して定期的に受診勧奨を行い、受診率100%の達成に取り組んでいます。

メンタルヘルス対策としては、法改正に則ったストレスチェックの実施、セルフケア、ラインケアのeラーニングの実施、さらに必要に応じて産業保健スタッフによる面談を実施しています。

メンタルヘルス不調による休職者に対しては、復帰プログラムを実施し、速やかな復帰への支援と再休業者の発生防止に取り組んでいます。

## 品質マネジメント

Highlight

### 品質向上における取り組み

- ・2015年度は、SCREENグループの製品やサービスに対し、複数のお客さま、業界団体などから高い評価を頂きました。
- ・SCREENグループのLaser Systems & Solutions of Europe SASUにおいてISO9001を新規認証取得しました。

### ISO9001規格による品質マネジメント

当社グループでは各事業会社と国内外グループ会社計17社において、ISO9001の認証を取得、維持し、ISO9001規格による品質マネジメントシステムに基づいた製品およびサービスの品質向上に取り組み、お客さま満足度向上に努めています。

### 各事業会社の取り組み

各事業会社において品質方針を定め、適宜更新しながら運用しています。

取り組みについての詳細はウェブサイトをご覧ください。

(株)SCREENセミコンダクターソリューションズ	新規設計評価システムの運用 品質業務改善評価システムの運用
(株)SCREENグラフィックアンドプレジジョンソリューションズ	時代に合った品質システムへの変革開始 お客さま設備のホームドクターとして信頼されるサービスを提供
(株)SCREENファインテックソリューションズ	よりQCDを意識した品質マネジメントシステムへの改革

### 評価されるSCREENの技術力

当社グループは、独自技術を生かした有益な製品やサービスの提供に努めています。2015年度もさまざまなお客さまから、私たちの製品に高い評価を頂いています。今後も製品やサービスを通して社会に貢献できるよう努めます。

表彰名	評価内容	対象組織
株式会社産業タイムズ社の「半導体・オブ・ザ・イヤー2015」半導体製造装置部門においてグランプリを受賞	レジスト塗布装置「80EX スプレーコータ」の均一性の高い塗布技術	株式会社SCREENセミコンダクターソリューションズ
世界最大の半導体ファウンドリーのTSMC社から、2015年度「Excellent performance in clean and track equipment」を受賞	洗浄装置、コーターデベロッパの低コストでの装置生産性の向上や、最先端の研究開発の成果、高い装置性能など	
一般社団法人日本機械工業連合会主催の「第36回優秀省エネルギー機器表彰」において、「日本機械工業連合会会長賞」を受賞	プリント基板の消費電力削減技術、波長の出力レベルを自在に制御する技術を開発・搭載することで顧客のニーズに柔軟に対応できる技術など	株式会社SCREENグラフィックアンドプレジジョンソリューションズ
インテル コーポレーションからプリファード・クオリティー・サプライヤー(PQS)賞を受賞	ウエハー洗浄装置、アニール装置、半導体製造に関するサービスと、業界を先導する重要な役割	株式会社SCREENセミコンダクターソリューションズ

## 社会との関わり

Highlight

### 社会貢献活動における取り組み

- ・SCREENグループでは、国内での社会貢献活動をはじめ、韓国、アメリカ、イスラエルなどの海外においても社会福祉、環境美化などを目的とした活動を行っています。

### 公共政策／行政機関・政治団体との関係

当社および主要子会社は、一般社団法人「日本半導体製造装置協会(SEAJ)」をはじめとして、国内外の半導体製造装置業界やFPD製造装置業界、印刷装置業界の成長に向けた政策提言などに取り組んでいる各種団体に所属しています。また、本社のある京都において各種団体に所属し、その活動を通じて地域経済・産業・文化の発展に寄与しています。

2016年3月期に政府から受けた助成金などの財務的支援の総額は、2億8千4百万円でした。

### 事業活動による地域社会への影響を管理進

当社グループでは、内部評価において、事業活動が地域社会に及ぼす環境的・社会的影響を確認しています。EHSマネジメントシステムのもと、従業員の教育や設備対策などを実施し、適切な管理に努めています。

2016年3月期、地域の環境や社会に影響を与える事象や、事業所の移動や事業内容の変更などによる経済的影響は発生していません。

### 次世代育成などの社会貢献活動を継続的に実施

当社グループは、イノベーションによって産業発展に貢献し、収益を社会に還元するという考え方にに基づき、さまざまな社会貢献活動を通じて、地域との信頼関係構築に取り組んでいます。

### 主な社会貢献活動

次世代育成支援	SCREENグループでは、次世代育成支援として、小学生、中学生や高校生等へ、事業所への見学や職業体験の受け入れをはじめ、さまざまな学習体験の場を提供することに協力をしています。また海外においては、ニューヨークでのロボット競技会への協賛もしています。
地域社会との交流	SCREENホールディングスでは、日本三大祭りの一つ「祇園祭山鉦巡行曳き手」や「祇園祭ごみゼロ大作戦」へのボランティア参加を通じて地域との交流を深めました。
社会福祉	SCREENグループでは、発展途上国の子どもへの寄付活動への参加、また障がい者の就労支援として障がい者施設でのボランティア参加などを行っています。 韓国の拠点では、子ども、低所得者や病人など、幅広い方への支援をしています。 イスラエルの拠点では、恵まれない家庭への寄付や食糧支援、目の不自由な方々の団体への寄付や施設でのお手入れをしています。
環境美化	SCREENグループでは、全事業所周辺での定期清掃をしています。また琵琶湖周辺や、彦根市高宮町内の河川清掃活動もしています。